

# やちまた 文化財ボランティア通信

第5号

—平成22年10月—

『やちまた文化財ボランティア通信』第5号をお届けします。

八街市教育委員会が推進する文化財保護・活用・継承のための市民・行政協働事業の一環として、文化財ボランティアの最近の活動状況や文化財情報などをお知らせします。

また、本号には、ボランティアメッセージとして、八街文化財同好会で活躍する会員の文化財保護に対する強い思いを掲載しました。

## 文化財ボランティアの近況

(平成22年度の登録者数は31名)

### 八街文化財同好会

(会員数12名：男性8名・女性4名)

八街文化財同好会による郷土資料館収蔵資料整備作業は、平成20年7月から続けられており、本年7月で3年目に突入しました。

収蔵庫には、市民の皆様から寄贈された民具などの資料が今でも増え続けており、その清掃と分類が不可欠な作業です。しかし、収蔵スペースは広いわけではないので、その収納方法にはとても苦慮しております。



文化財同好会の皆さんは、各種資料が教育現場などで多く活用されることを目指して、毎月頑張っています。

## ●第4号以後の文化財ボランティア活動一覧

- 平成22年4月10日 郷土資料館収蔵資料整備作業①〔八街文化財同好会8名〕
- 5月8日 郷土資料館収蔵資料整備作業②〔八街文化財同好会10名〕
- 6月12日 郷土資料館収蔵資料整備作業③〔八街文化財同好会9名〕
- 7月10日 郷土資料館収蔵資料整備作業④〔八街文化財同好会7名〕
- (8月の郷土資料館収蔵資料整備作業は、中止)
- 9月11日 郷土資料館収蔵資料整備作業⑤〔八街文化財同好会11名〕

## ボランティアメッセージ

### 文化財ボランティア雑感

ある会の研修旅行で福島県会津地方を訪れたのは2008年(平成20年)の秋でしたから、今から2年ほど前のこととなります。

研修旅行のテーマは、「会津戊辰戦役の足跡を追う」という、大層気合いの入った、まるで研究家の資料収集調査のようなテーマでしたが、実は、単なる幕末維新史の愛好者グループ数十人が、会津戊辰戦跡や会津藩の史跡をたずね歩き、各人がその貧弱な知識を披露しあうという楽しい旅行でした。夜の懇親会ともなると、各人の教養は酒と共にさらに高まり、にわか専門家に变身し、ますます場が盛り上がってゆきます。

こういう雰囲気の中、戊辰戦史にくわしい会津出身の知人が、急に姿勢をあらため、「今日の散策で見たでしょう、雑草につつまれた道端で淋しそうに点在する荒れ果てた墓を」と、静かにいうのです。「はい見ました」というと、「ああいうのを有形文化財にしてくれたら良いのですが」と言い、『文化財』について、熱く語り始めたのです。『文化財』というものの概要を理解することが出来ました。そして彼は、「最近では、世界遺産がブームになっているようですが、同じように、どこの県や市でも文化財保護の気運が高まってきているようです」と状況をコンパクトにまとめてから、「今日見学したあの墓ですが、あれは明治初期の石造物ですから、比較的新しい建造物ということになります。まー新しい物はなかなか文化財として認知されないのですが、しかし会津戊辰戦争が生んだ悲劇を今に伝える貴重な墓石です。文化財として保護し、後世に継承して行かなければ、ここに眠る戊辰戦争殉難者がかわいそうです」と眼を細めていうのです。この知人は、優しいまなざしで郷土を見ているのです。

この時「現役引退後、なにか地域のために恩返しをしなければ」と、漠然と考えていた事に対する具体的な回答をようやく得た思いがしました。そして、この歴史愛好者たちと歴史談議を愉しみながら、秘かに市の『文化財ボランティア講座』に参加させて頂こうと決めたのです。

八街文化財同好会 関本有紀

八街文化財ボランティア歴

平成20年12月 八街市文化財ボランティア講座受講(第4年目)

平成21年3月 八街文化財同好会入会・現在に至る

## 文化財情報コーナー

毎年11月1日から7日までの1週間は、「文化財保護強調週間」です。

文化庁では、文化財保護強調週間をより一層国民の身近なものとし、文化財への関心を高め、その保存及び活用の推進を図るため、文化財保護強調週間のロゴマークを作成しました。

文化財は国民共有の貴重な財産です。皆様もこの機会に身近な文化財や歴史に親しんでください。



## 八街の歴史・文化財出前講座を始めました!!

八街市教育委員会では、本年4月から「八街の歴史・文化財出前講座」を始めました。これは、市民の皆様にも、市の歴史や文化財に関する学習機会を提供し、郷土に対する興味や関心を深めていただくことにより、より良いまちづくりを推進するための一助とすることを目指して行うものです。

教育委員会職員が市内のどこにでも出張しますので、ぜひ、ご利用ください。

- 対象 市内に在住・在学・在勤する方を主体とする5人以上で構成された団体
- 実施日 年中（希望日の3週間前までにお申し込みください。）  
〔ただし、祝日・年末年始(12/28～1/4)を除く日及び市の行事等と重ならない日〕
- 実施時間 午前9時から午後9時までの2時間以内（講座内容により変動する）
- 申込場所 市教育委員会社会教育課 または 郷土資料館
- 受講料 原則無料
- 実施会場 ご希望の会場へ出張して行きます。（原則として申込団体にご用意いただきます。）

### 出前講座メニュー

#### 「八街市内の文化財」 【時間：1時間～】

八街の歴史的・地理的特色によって育まれてきた有形文化財、民俗文化財、記念物をはじめとする様々な文化財を知る。

#### 「八街の歴史（前編）」 【時間：1時間30分】

太古から戦国時代までの市域の歴史を知る。  
大きな日本の歴史の流れの中で、市域に暮らしていた先人たちは、どのような環境で生活を営み、そして歴史を刻んできたのか？

#### 「八街の歴史（後編）」

【時間：1時間30分】

近世から近代までの市域の歴史を知る。  
江戸時代、その多くが幕府の直轄牧であった市域において、村々やそこに住む人々は、どのような役割を担っていたのか。また、明治以降、近代化の波の中でどのように現在の八街市へと発展してきたのか？

#### 「発掘調査でわかった八街のむかし」

【時間：1時間30分】

文献には表れない、発掘調査からわかった八街の歴史を知る。  
これまでに市内で行われてきた発掘調査の成果に基づいて、調査時の豊富な写真を見ながら、身近に残されてきた遺跡の概要と、市域の歴史はどのようなものであったのか？

#### 「ふれあいバスで行く文化財探訪」

【時間：4時間程度】

ふれあいバス(中コース)を利用して、岡田・根古谷地区に所在する文化財、寺院、景観などを見学しながら散策し、やちまたの良さを再発見する。(徒歩は最短2km弱のコース)  
見学ポイントは、岡田馬頭観世音堂、岡田の神社集落、法宣寺、寝釈迦、根古谷城跡など。  
ふれあいバスは、座席数14、定員24人の乗り合いバスで、一般のお客様が乗車します。  
少人数(概ね10人以内)向けのメニューで、バス代(往復400円)が必要です。



出前講座のようす

※ 講座内容などについてご希望やご相談がありましたら、社会教育課 (Tel 043-443-1464) 文化財班へご連絡ください。

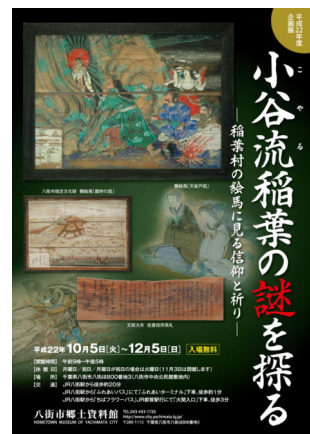
## 郷土資料館 企画展 開催中 !!

郷土資料館では、本年10月5日(火)から12月5日(日)まで、企画展『小谷流稲葉の謎を探る - 稲葉村の絵馬に見る信仰と祈り -』を開催しています。

市内には、江戸時代に「稲葉村」という戸数4～5戸の小さな村がありましたが、村としての規模がとても小さいため、江戸時代の初めには西御門村(現佐倉市)、江戸時代の後半には小谷流村が名主役を兼ねていました。

なぜ、このような小さな村が江戸時代を通して存続できたのでしょうか？

この謎を、稲葉村に残された絵馬や古文書を通して考える展示となっています。



## 『八街市史 資料編 近世二』を刊行!!

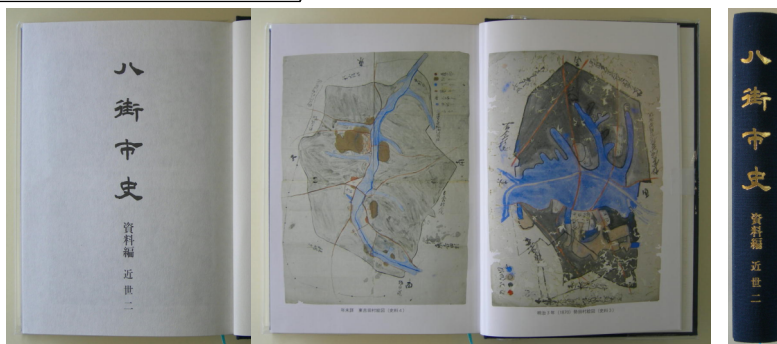
本年3月25日、『八街市史 資料編 近世二』を刊行しました。

現在、郷土資料館では、『八街市史』の編さん事業を進めており、今回で2冊目の資料集となります。

この本には、江戸時代に旗本戸田氏領であった東吉田村・吉倉村・勢田村・砂村・上砂村五か村の近世資料をまとめたものです。

この五か村は、『八街市史 資料編 近世一』(平成15年3月31日発行)に掲載された用草村の東から南東に位置し、用草村と同様に野付村として柳沢牧・小間子牧と深く関わっていた村でした。

この『近世二』は1冊3,700円、『近世一』は1冊3,000円で、郷土資料館と社会教育課で販売しています。



## 八街歴史講座を開催しました!

本年6月から7月、中央公民館を会場に、全6回にわたり『八街歴史講座 - 東吉田・吉倉・勢田・砂・上砂の江戸時代 -』を開催しました。この講座は、『八街市史 資料編 近世二』の刊行を記念して郷土資料館が主催したもので、毎回、多くの方が受講しました。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1回目:「江戸時代の村のかたち」    | 2回目:「近世の八街と人びとの暮らし」 |
| 3回目:「江戸時代の領主支配と村々」  | 4回目:「近世の村役人と文書引継ぎ」  |
| 5回目:「江戸時代における八街の土地」 | 6回目:「江戸時代の寺院と村々」    |

この通信紙に対するご意見・ご要望、または文化財保護やボランティア活動に関することなどなんでも結構ですので、社会教育課文化財班へお寄せください。可能な限りこの通信紙に掲載して、皆さんへお届けします。

### やちまた文化財ボランティア通信 第5号

発行日 平成22年10月5日  
編集・発行 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35番地29  
八街市教育委員会 社会教育課 文化財班  
Tel : 043-443-1464 Fax : 043-443-1448  
e-mail : shakyo@city.yachimata.lg.jp